

学 園 報

No.56

富山国際学園 URL <https://www.tii.ac.jp/>
 富山国際大学 URL <https://www.tuins.ac.jp/>
 富山短期大学 URL <https://www.toyama-c.ac.jp/>
 富山国際大学付属高等学校 URL <https://www.tuins-h.ed.jp/>

富山短期大学付属みどり野幼稚園 URL <https://www.toyama-c.ac.jp/info/midorino/>
 社会福祉法人富山国際学園福祉会にながわ保育園 URL <https://www.tkfukushikai.or.jp/ninagawa/>
 社会福祉法人富山国際学園福祉会西田地方保育園 URL <https://www.tkfukushikai.or.jp/nishiden-hoiku/>

●学校法人富山国際学園

〒930-0193 富山市瀬海寺水口444
 TEL/076-436-5139
 FAX/076-436-5444

政治の混迷



理事長
金岡 克己

2024年秋の衆議院議員選挙の結果、与党の自由民主党、公明党が過半数割れとなりました。また、アメリカ大統領選挙では共和党のトランプ元大統領が返り咲きました。それから半年余り、日本、世界において、政治の混迷が深まっているように感じます。

日本では、当初、国民民主党の選挙公約である103万円の壁の引き上げが話題となりました。その後、少数与党、主要野党間の合従連衡を見据えた主導権争いの様相となり、日本維新の会が提唱する高校授業料の無償化が先行する流れとなりました。この間、コメの小売価格の高騰は続き、農林水産省の施策が功を奏さないまま、今度は立憲民主党が食料品の消費税を1年間ゼロとする策を打ち出すなど、議論が錯綜としています。

アメリカでは、本年1月にトランプ大統領が就任し、ただちに60以上の大統領令に署名、前民主党政権との違いを鮮明にしました。論点は、移民問題、ウクライナ紛争、トランスジェンダー問題、環境問題など多岐に渡ります。とりわけ世界各国に大きな衝撃を与えたのが大胆な関税政策です。

当初、トランプ大統領は、中国、カナダ、メキシコに関税を課す大統領令に署名しました。これは、アメリカ国内の麻薬対策です。アメリカでは、薬物過剰摂取による死者が年間10万人を超えるとされ、その中心が合成麻薬フェンタニルです。麻薬中毒者が徘徊する地域はゾンビタウンと呼ばれる事態となっています。このフェンタニルの前駆体は中国で安価に生産され、カナダ、メキシコを経てアメリカに流入しており、関係国の麻薬対策を促すため関税を課すというものです。

関税の議論は、アメリカの国益を守る、製造業を復活させるとのトランプ政権の考えのもと、対米貿易収支が黒字の国々に対し関税を課すという方向に進みました。ヨーロッパや日本など、アメリカの友好国に対しても高率の関税を設定しようとしています。なお、トランプ大統領は相手国とのdeal（取引）を好むとされ、関税の最終形態がどうなるかは予測困難といわれています。

表題を政治の混迷としましたが、民主主義国家において、政治は民意の反映ですので、社会そのものの混迷が深まっていると解釈されます。分断と決めつけるのは早計ですが、国が抱えるいくつかの課題について、国民全体のコンセンサスを得ることが極めて難しい時代を迎えたといえましょう。例えば、アメリカでは人種間の対立が今も色濃く残っています。日本においても少子化対策、高齢者福祉、国の安全保障など、どれを優先すべきかについて全く異なる意見が見受けられます。思い起こされるのは、第二次世界大戦においてイギリス首相を務めたウィンストン・チャーチルの言葉です。「民主主義は最悪の政治形態といわれてきた。他に試みられたあらゆる形態を除けば」

教育界においても、ここ2年、恵泉女学園大学、高岡法科大学、京都ノートルダム女子大学が学生募集の停止を表明するなど、少子化の影響が顕在化し、混迷の時代を迎えています。こうした時勢に重要な視点は、希望的観測にすぎず現状を維持しようとするのではなく、起きている事実をしっかりと受け止め、未来に向けた意思決定を行っていくことではないでしょうか。

CONTENTS

- 政治の混迷 理事長 金岡 克己 … 1
- 特集1 国の支援事業に採択
～TUINSホテルイカプロジェクト始動～ … 2
- 富山県と富山国際大学が包括連携協定を
締結 … 3
- 特集2 学生広報大使の活動について … 4

- 特集3 ニュージーランド姉妹校交流 … 4
- 特集4 大学機関別認証評価で「適合」認定 … 5
- 令和7年度入試状況・令和6年度進路状況等 … 5
- 学園退職者・新任者一覧 … 5
- 令和7年度予算概要 … 6～7
- 学園NEWS … 8

国の支援事業に採択～TUINSホタルイカプロジェクト始動～

富山国際大学戦略企画部

富山国際大学の戦略的経営改革計画「TUINSホタルイカプロジェクト」が、文部科学省の令和6年度「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」事業において、「少子化時代をキラリと光る教育力で乗り越える、私立大学等戦略的経営改革支援」の対象として選定されました。

文部科学省の同事業は、「社会や地域の将来ビジョンを見据え、未来に不可欠な専門人材の育成を担うことを目的として、教育研究面の構造的な転換や資源の集中等による機能強化・経営改革を行う私立大学を支援する」というものです。

全国111校からの応募に対し、選定されたのは45校（うち大学は32校、北陸ブロックでは3校）であり、富山県では本学が唯一の選定校です。

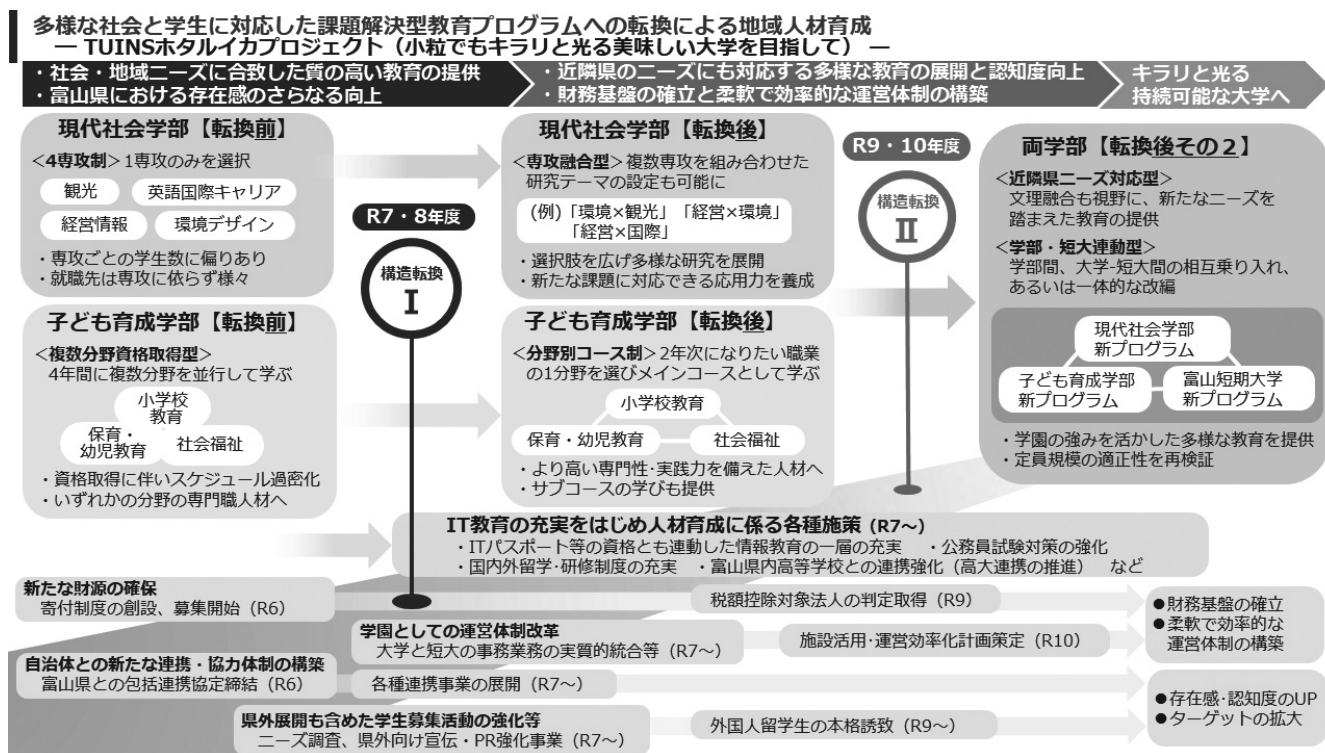
今後本学は、5年間にわたる継続的支援を受けながら、社会・地域のニーズに合致した質の高い教育を提供するため、課題解決に不可欠なIT教育の充実と並行し、柔軟で魅力ある教育プログラムへの転換を図ることとしています。

また、運営体制改革や新たな財源の確保、学生募集活動強化を通じて、持続可能な経営基盤を構築するとともに、富山に根ざした大学として、富山県との連携を強化しながら、地域社会発展へ一層貢献してまいります。

令和6年度末時点での取組みとしては、現代社会学部と子ども育成学部の両学部において、新たなカリキュラムの編成に向け、ワーキングチーム等を中心に議論を進めています。また、次頁で紹介するとおり、富山県との間で新たに包括連携協定を締結したほか、財源確保の一環として、寄付を受け入れやすい仕組みづくり（大学ウェブサイト内に募集ページを新設）も行ったところ です。

「小粒でもキラリと光る美味しい大学」を目指す本学の取組みに、今後ご理解とご協力をお願いします。

※「TUINSホタルイカプロジェクト」の詳細（計画書本体）は、右記QRコードよりご確認ください。



富山県と富山国際大学が包括連携協定を締結

富山国際大学戦略企画部

2025（令和7）年3月31日（月）に、富山県と富山国際大学との間で、包括連携協定を締結しました。

県と県内大学との協定は、2005年に富山大学との間で結ばれて以来、2例目となります。

富山県庁本館3階特別室で行われた締結式には、新田八郎富山県知事、本学園の金岡克己理事長、高木利久学長が出席し、それぞれ署名の上、協定書を取り交わしました。



（左から、高木学長、金岡理事長、新田知事）

協定の締結にあたっては、昨年の夏頃から、県との協議を重ねてまいりました。このたびの締結により、相互の連携を強化し、主に以下のような項目・分野で協力を進めていくこととしています。

※今後実施に向けて検討するものも含まれます。

(1) 教育・人材の育成に関すること

○教育・保育・福祉分野の人材の育成、確保

- ・県教育委員会と子ども育成学部の連携による小学校教員養成の強化
- ・保育士を目指す学生への県内保育所等の最新情報レター送付
- ・社会福祉士を目指す学生への県内福祉施設情報の送付

○県各部局と連携した教育・研究

- ・県の施策やウェルビーイング指標等を踏まえた調査研究、学生からの提言
- ・職員研修の充実

(2) 若者の県内定着の促進に関すること

○若者の県内定着の促進

- ・学生と連携した女性のウェルビーイング推進に係る取組み
- ・インターンシップ受入企業と学生とのマッチング促進

(3) 地域の振興、まちづくりに関すること

○地域課題の解決

- ・学生による地域のスポーツ振興活動
- ・県が企画するイベント、キャンペーン等における学生ボランティアの協力推進

○まちづくり・観光振興

- ・県庁周辺エリア活用策に関する連携
- ・学生と「とやま観光塾」の塾生・修了生との交流

(4) 国際化・DXの推進に関すること

○国際化・DXの推進

- ・中国からの留学生受入れ促進に関する連携
- ・県データの利活用促進を図る「富山官民データラウンドテーブル」への学生参画
- ・県のオープンデータを活用したデータサイエンス教育と県へのフィードバック

締結式において、新田知事は、富山国際大学の入学者の9割が県内出身であり、8割が県内就職している実績に触れられ、「今後の連携強化を通して、富山国際大学が、県内外の若者が集まる学びの場となり、今後とも県内で活躍する人材の育成拠点となってほしい」との期待を寄せられました。

また、金岡理事長からは、「県の助言を仰ぎながら大学の魅力を高め、地域を担う人材を育成し、県の少子化対策や子育て支援に貢献できるよう努めたい」との抱負が語られました。

本学では今後とも、データサイエンス教育の強みを活かしながら、県との連携事業等の取組みを通して、より魅力と特色ある教育を展開し、地域人材の育成や社会の発展に貢献してまいります。

引き続き、本学の活動にご注目ください。

学生広報大使の活動について

富山短期大学戦略企画部広報センター

富山短期大学の魅力を学生目線で伝えようと、2024（令和6）年12月、在学生による「学生広報大使」の活動が始まりました。学生広報大使の主な活動内容は、SNSを使った情報発信です。学生広報大使のInstagramアカウントを開設し、学生目線で富山短期大学の魅力を紹介する企画の立案から写真撮影、文章作成、画像制作を行っています。現在、動画制作にも挑戦中で、ストーリー展開、撮影、編集など全て学生が担います。将来的には学校PR動画制作やオープンキャンパスの運営など、幅広い広報活動を学生が主体となって企画・運営できるようになることを目標としています。

「社会人として巣立つ前に広報の仕事を体験したい」「大好きな学校の魅力を後輩に伝えたい」などの思いを抱き、審査を通過し選ばれた第1期学生広報大使は3人です。それぞれSNSを使った情報発信はほぼ初めてでしたが、情報発信企業のプロから、SNS発信の手順や注意点、効果的な発信方法などを学ぶ研修を受講し、少しずつ丁寧に運用が始まりました。初めてのInstagram投稿は2025（令和7）年1月22日（水）です。仲間の携帯電話の機種が異なりアップデートの仕方が分からなかったり、Instagramのアイコンを自分たちで作らなければならなかったりと、大使たちはスタートから悪戦苦闘している様子でしたが、現在は「サークル紹介」や「各学科の教員紹介」など、自分たちで原稿を依頼しまとめ上げ、写真も集めて加工するなど、企画投稿ができるまでに成長しています。「先生の研究室を突撃訪問した様子をアップしたい」や「各学科の特色を学生目線で分かりやすく紹介したい」といった声も聞かれ、Instagramを活用した広報活動に少しハマって来た様子です。またこの春入学した新入生を対象に現在第2期生を公募しており、学生広報大使の後輩と共に新しい視点で富山短期大学を広くPRしたいと意気込んでいます。

18歳以下の人口が減少期に入り、ますます受験人口が少なくなるなか、全国各大学では広報対策によって明暗が分かれてくるのではと言われています。「学生に選ばれる大学」になるために、大学の情報や資料を提供するだけの「一方通行の広報」ではなかなかその先のステップに結びつきません。受験を控える高校生の気持ちに寄り添い、身近な味方となる、将来の先輩の存在が進路選択の一助になると考えています。Instagramは学生も高校生も気軽にアクションが取れるツールです。SNS利用が生活の中心にある時代に合わせた広報アプローチと言えるのかもしれません。

○Instagramユーザー名 tomitan_kouhou

https://www.instagram.com/tomitan_kouhou/?locale=ja_JP



ニュージーランド姉妹校交流

2025（令和7）年3月11日（火）～3月22日（土）、生徒13名（国際コース2名、特進コース7名、フロンティアコース4名）がニュージーランド姉妹校研修に参加しました。今回は第7回目の訪問となり、パ克蘭ガカレッジは長きに渡って交流している姉妹校です。

生徒たちは事前に、富山の観光地やグルメ、アニメ聖地巡礼、けん玉や折り紙の紹介についてのプレゼンテーションの練習を重ねてきました。10時間を超えるフライトを終え、パ克蘭ガカレッジに到着し、授業に参加した後、ホストファミリー宅へと向かいました。海外に来たのが初めてだという生徒もいましたが、すぐに馴染んでホームステイを楽しんでいる様子が伺え、とても頼もしく思いました。さまざまな人種の生徒が在籍する学校でBuddyの生徒と共に学ぶなかで異文化交流をし、ニュージーランドの授業と日本の授業の違いを知ることができました。日本語の授業では、準備してきたプレゼンテーションやクイズを披露しました。書道を体験してもらった際には、現地の生徒たちに好きな漢字を書いてもらったり、漢字の書き方を教えたりと、日本の文化を知ってもらうことができました。さらに、ニュージーランドの原住民であるマオリ族の言語の授業に参加し、マオリ語や伝統芸能の一つである「ポイ（Poi）」、「Taiaha」と呼ばれるスティックを使ったゲーム、カードゲームをしました。お祈りから始まり、お祈りで終わる授業を体験することで、マオリの歴史を大切に次世代に引き継ぐ姿勢に共感したようです。週末はホストファミリーと共に過ごし、家族の一員としてさまざまな場所に行き、楽しく過ごしました。ホームステイを終え、オークランド市内観光をし、博物館でマオリ族の伝統的な踊りである「ハカ（haka）」を見ました。それから、ロトルア観光に行き、アグロドームでは生徒たちは積極的にショーに参加しました。



帰国後の解散式で、棚田苺花（たなだ いちか）さんが、「現地校で異文化に触れ、ホストファミリーと深く交流することで一生忘れることのできない思い出を作れたことに感謝したい」と述べました。生徒たちは、この研修を通して、多様な考えを受け入れる姿勢や自立心を養うことができました。

2025（令和7）年4月15日（火）～4月22日（火）にパ克蘭ガ・カレッジから13名の生徒が来校しました。今回で8回目の訪問となり、授業体験や日本文化体験、富山県内の観光をしました。今後も相互交流を大切にしていきたいと考えています。

大学機関別認証評価で「適合」認定

富山国際大学は、日本高等教育評価機構による令和6年度認証評価を受審し、無事「適合」の認定を受けました。学校教育法109条に基づくこの制度は、大学に、教育研究等の総合的な状況について定期的に評価機関の審査を受けるよう義務づけています。今回は、教育研究・組織運営・学生支援の取組みと自己点検が、エビデンスに基づき行われているかが重点的に審査されました。

公表された評価報告書には、「優れた点」として、低い退学率の維持、キャリア支援体制、学長主導の組織改編等6点が明記されました。この結果を受け、今後も教職協同で、教育の質向上を目指し努めていく所存です。

入試状況・進路状況等

令和7年度入試状況

大学

(令和7年4月3日現在) (単位:人)

学 部	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
現代社会	120	190	188	179	86
子ども育成	90	193	191	178	88
合 計	210	383	379	357	174

短 大

(令和7年4月3日現在) (単位:人)

学 科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
食物栄養	80	82	82	80	66
幼児教育	80	95	94	94	75
経営情報	110	116	116	116	87
健康福祉	40	22	22	22	18
食物栄養専攻	15	12	12	12	12
合 計	325	327	326	324	258

高 校

(令和7年4月8日現在) (単位:人)

コ ー ス	募集人員	出願者	受験者	入学者
国 際 英 語 コ ー ス	2クラス	159	159	49
特 進 コ ー ス	2クラス	499	499	72
フロンティアコース	5クラス	377	377	190
合 計	9クラス	1035	1035	311

令和7年度入園児童

幼稚園

(令和7年4月1日現在) (単位:人)

	男	女	合計
3歳児	9	12	21
4歳児	2	0	2
5歳児	0	0	0
合計	11	12	23

※新入園児のみ

令和6年度進路状況

(令和7年5月1日現在) (単位:人)

学 部	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者
現代社会	109	103	102	98	2
子ども育成	101	96	96	100	2
合 計	210	199	198	99	4

(令和7年5月1日現在) (単位:人)

学 科	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者	研究生
食物栄養	58	49	47	95.9	3	
幼児教育	84	83	83	100.0	0	
経営情報	88	77	77	100.0	2	
健康福祉	23	18	18	100.0	4	
食物栄養専攻	9	0	0	—	0	
合 計	262	227	225	99.1	9	9

※経営情報学科には9月卒業1名含む

(令和7年3月31日現在) (単位:人)

大 学	合格者	入学者	短期大学	合格者	入学者	その他	合格者	入学者	卒業生
富山国際大学	17	15	富山短期大学	17	17	専修各種学校	58	54	252
国公立大学	20	16	公立短期大学	0	0	就 職	15	13	
他の私立大学	198	125	他の私立短期大学	3	3	そ の 他		6	
海外大学	3	3	合 計	20	20	合 計	73	73	
合 計	238	159							

令和6年度卒園児童

(令和7年3月31日現在) (単位:人)

	男	女	合計
5歳児	17	9	26

◆退職者一覧 (令和7年3月31日付)

〈本 部〉	黒崎紫抄代	学園本部事務局長・常務理事
〈大 学〉	大谷 孝行	教授・学部長 (現代社会学部)
	大藪 敏宏	教授 (子ども育成学部)
	高橋 哲郎	教授 (現代社会学部)
	小森 隆	教授 (現代社会学部)
	繁宮 悠介	准教授 (現代社会学部)
	梁 庭昌	講師 (現代社会学部)
	義基 祐正	講師 (子ども育成学部)
	小比賀 誠	事務部長
〈短 大〉	山形 隆	参事
	松居紀久子	教授 (幼児教育学科)
	藤野 裕	准教授 (経営情報学科)
	角田 香澄	講師 (食物栄養学科)
	杉本ますみ	主査 (司書)
	宮坂 理絵	主事 (運営管理部総務課・健康支援センター)
	毛利 貴志	係長 (教育研究部学務課 (入試担当))
〈高 校〉	仲井 章	校長
	奥澤 久夫	教諭 (国語)
〈幼 稚 園〉	江尻いづみ	副園長

◆新任者一覧 (令和7年4月1日付)

〈本 部〉	五十里 栄	学園本部事務局長
〈大 学〉	佐々木謙一	教授 (現代社会学部)
	関口 敏也	参事 (教育研究部学務課 (入試担当))
	東海 愛弓	主事 (教育研究部学務課 (教務担当))
	吉田 昌平	主事 (教育研究部学務課 (入試担当))
	三浦 信明	教授 (現代社会学部)
〈短 大〉	倉田 知秋	准教授 (経営情報学科)
	杉原 栄	参事 (キャリア支援センター長)
	五十嵐真実	主事 (事務部・運営管理部総務課)
	松下 里菜	主事 (運営管理部総務課・健康支援センター)
		(大学事務部呉羽事務室兼務)
	村牧 克城	主事 (教育研究部学務課 (入試担当))
	川原亜季乃	主事 (教育研究部学務課 (教務・入試担当))
〈高 校〉	吉國 太	教諭 (国語)
〈幼 稚 園〉	石黒 彩夏	教諭

令和7年度 予算概要

令和7年度の事業計画及び予算は、去る3月25日開催の評議員会・理事会において承認されました。

各校の主な事業計画及び予算の概要は以下のとおりです。

【事業計画】

【大学】

- ①教育の質保証の向上をめざし、アクションプランに基づく多様な取り組みを推進
- ②外部資金の積極的な獲得
- ③国際化教育及び情報教育の充実を図り、ICTを活用したスマートキャンパス化を推進【現代社会学部】
- ④富山県における教育・福祉分野の専門的人材養成の核となるべく。保育・教育・福祉の人材育成及び情報教育を推進【子ども育成学部】

【短大】

- ①多様な入学生の受け入れ・確保に努め、教育の質保証と学生支援サービスの向上のための多様な取り組みを推進
- ②各学科の実践的専門教育の質の向上を図り、ICT教育を充実
- ③時代の変化に即した短大運営と改革、事業の見直し、危機管理などの諸課題への効率的な対応を推進

【高校】

- ①国際化教育及びICT教育を推進し、きめ細かい学習指導を実施
- ②「批判的思考力」「考え抜く姿勢」「実践力」を養い、課題解決力のあるグローバルリーダーを育成
- ③魅力ある教育サービスの提供のための教育環境整備

【幼稚園】

- ①幼稚園型認定こども園として、新たな幼児教育・保育ニーズに対応した取り組みを推進

資金収支予算書

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで (単位：千円)

	令和7年度 予算額	令和6年度 当初予算額	差 異
収入 の 部	学生生徒等納付金収入	1,756,382	1,809,867 △ 53,485
	手数料収入	36,270	37,855 △ 1,585
	寄付金収入	1,503	1,503 0
	補助金収入	677,023	631,649 45,374
	資産売却収入	1	1 0
	付随事業・収益事業収入	37,342	28,408 8,934
	受取利息・配当金収入	2,320	2,320 0
	雑収入	83,815	75,970 7,845
	借入金等収入	0	0 0
	前受金収入	420,805	446,890 △ 26,085
	その他の収入	141,108	80,195 60,913
	資金収入調整勘定	△ 553,900	△ 549,640 △ 4,260
	前年度繰越支払資金	1,049,813	1,053,453 △ 3,640
	収入の部合計	3,652,482	3,618,471 34,011
支出 の 部	人件費支出	1,725,738	1,684,541 41,197
	教育研究経費支出	725,647	715,557 10,090
	管理経費支出	172,685	160,357 12,328
	借入金等利息支出	0	0 0
	借入金等返済支出	0	0 0
	施設関係支出	1,000	35,179 △ 34,179
	設備関係支出	56,314	61,337 △ 5,023
	資産運用支出	4,512	4,512 0
	その他の支出	162,500	127,395 35,105
	【予備費】	15,500	15,500 0
	資金支出調整勘定	△ 148,000	△ 136,000 △ 12,000
	次年度繰越支払資金	936,586	950,093 △ 13,507
	支出の部合計	3,652,482	3,618,471 34,011

事業活動収支予算書

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで (単位：千円)

		科 目	令和7年度 予算額	令和6年度 当初予算額	差 異
教育活動収支	収入事業活動	学生生徒等納付金	1,756,382	1,809,867	△ 53,485
		手数料	36,270	37,855	△ 1,585
		寄付金	3,506	3,506	0
		経常費等補助金	677,023	631,649	45,374
		付随事業収入	37,342	28,408	8,934
		雑収入	83,814	75,969	7,845
		教育活動収入合計(1)	2,594,337	2,587,254	7,083
	支出事業活動	人件費	1,729,738	1,688,541	41,197
		教育研究経費	1,052,647	1,041,557	11,090
		管理経費	177,484	165,156	12,328
徴収不能額等		2	2	0	
	教育活動支出合計(2)	2,959,871	2,895,256	64,615	
	教育活動収支差額(3)=(1)-(2)	△ 365,534	△ 308,002	△ 57,532	
教育活動外収支	収入事業活動	受取利息・配当金	2,320	2,320	0
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入合計(4)	2,320	2,320	0
	支出事業活動	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出合計(5)	0	0	0
		教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)	2,320	2,320	0
	経常収支差額(7)=(3)+(6)	△ 363,214	△ 305,682	△ 57,532	
特別収支	収入事業活動	資産売却差額	2	2	0
		その他の特別収入	3,603	3,603	0
		特別収入合計(8)	3,605	3,605	0
		資産処分差額	6,100	6,100	0
	支出事業活動	その他の特別損失	1	1	0
		特別支出合計(9)	6,101	6,101	0
		特別収支差額(10)=(8)-(9)	△ 2,496	△ 2,496	0
	【予備費】(11)	15,500	15,500	0	
	基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(10)-(11)	△ 381,210	△ 323,678	△ 57,532	
	基本金組入額合計(13)	△ 566	△ 28,729	28,163	
	当年度収支差額(14)=(12)+(13)	△ 381,776	△ 352,407	△ 29,369	
	前年度繰越収支差額(15)	△ 2,662,405	△ 2,495,392	△ 167,013	
	基本金取崩額(16)	0	0	0	
	翌年度繰越収支差額(17)=(14)+(15)+(16)	△ 3,044,181	△ 2,847,799	△ 196,382	
(参考)					
	事業活動収入合計(1)+(4)+(8)	2,600,262	2,593,179	7,083	
	事業活動支出合計(2)+(5)+(9)+(11)	2,981,472	2,916,857	64,615	

【事業活動収支予算】

事業活動収支予算において、収入では、学生生徒等納付金53百万円減、手数料収入1.5百万円減となる一方、経常費補助金収入45百万円増などにより、事業活動収入計が2,600百万円（対前年度当初予算比7百万円増・0.3%増）となりました。

支出では、人件費41百万円増などにより、事業活動支出合計が2,981百万円（同65百万円増・2.2%増）となりました。また、基本金組入額0.1百万円余りを差し引いた当年度収支差額は、304百万円の赤字予算となりました。

【資金収支予算】

資金収支予算において、令和7年度の学園が行う諸活動に対応する収入として、学生生徒等納付金収入、補助金収入、付随事業・収益事業収入、令和8年度入学生の前受金収入、令和6年度末の未収入金等が計上されています。一方、支出として、人件費支出、教育

研究経費支出、管理経費支出、施設設備関係支出等が計上されています。その結果、令和7年度の諸活動に対するすべての収入・支出の資金として、3,652百万円（同34百万円増・0.9%増）が見込まれています。

【学園の財務状況】

学園の財務状況は、単年度ベースでは、昨年に続き赤字予算となりました。

事業活動収入の中でも大学・短大において、学生生徒等納付金が前年度を下回ることを見込んだ予算となっているためです。本学園では、学生生徒等納付金と経常費等補助金が、収入の約95%を占めています。従って、これらの予算を確実に確保しつつ、新たな収入源を確保すること、そして、支出予算の効率的かつ効果的な執行に努めなければなりません。

令和7年度部門別事業活動収支予算書

(単位：千円)

活動区分		科 目	法 人	大 学	短 大	高 校	幼 稚 園	総 額
教育活動収支	収入 入業の活動	学生生徒等納付金	0	815,460	527,915	412,167	840	1,756,382
		手数料	0	13,896	10,044	12,300	30	36,270
		寄付金	1	1,502	3	1,000	1,000	3,506
		経常費等補助金	0	160,901	112,952	308,960	94,210	677,023
		付随事業収入	0	8,230	22,784	0	6,328	37,342
		雑収入	4,500	43,525	12,125	23,664	0	83,814
		教育活動収入合計(1)	4,501	1,043,514	685,823	758,091	102,408	2,594,337
	支出 出業の活動	人件費	36,507	632,972	520,732	477,752	61,775	1,729,738
		教育研究経費	34,305	412,194	346,934	213,834	45,380	1,052,647
		管理経費	11,858	82,424	58,145	23,854	1,203	177,484
徴収不能額等		0	1	1	0	0	2	
教育活動支出合計(2)		82,670	1,127,591	925,812	715,440	108,358	2,959,871	
教育活動収支差額(3)=(1)－(2)		△ 78,169	△ 84,077	△ 239,989	42,651	△ 5,950	△ 365,534	
教育活動外収支	収入 入業の活動	受取利息・配当金	2,020	200	100	0	0	2,320
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	0
		教育活動外収入合計(4)	2,020	200	100	0	0	2,320
	支出 出業の活動	借入金等利息	0	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0
		教育活動外支出合計(5)	0	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額(6)=(4)－(5)		2,020	200	100	0	0	2,320	
経常収支差額(7)=(3)+(6)		△ 76,149	△ 83,877	△ 239,889	42,651	△ 5,950	△ 363,214	
特別収支	収入 入業の活動	資産売却差額	0	1	1	0	0	2
		その他の特別収入	0	1,000	1,003	1,000	600	3,603
		特別収入合計(8)	0	1,001	1,004	1,000	600	3,605
	支出 出業の活動	資産処分差額	0	2,500	3,000	600	0	6,100
		その他の特別損失	0	0	1	0	0	1
		特別支出合計(9)	0	2,500	3,001	600	0	6,101
特別収支差額(10)=(8)－(9)		0	△ 1,499	△ 1,997	400	600	△ 2,496	
【予備費】(11)		2,000	5,000	5,000	3,000	500	15,500	
基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(10)－(11)		△ 78,149	△ 90,376	△ 246,886	40,051	△ 5,850	△ 381,210	
基本金組入額合計(13)		△ 10,913	2,678	5,751	3,124	△ 1,206	△ 566	
当年度収支差額(14)=(12)+(13)		△ 89,062	△ 87,698	△ 241,135	43,175	△ 7,056	△ 381,776	
前年度繰越収支差額(15)		—	—	—	—	—	△ 2,662,405	
基本金取崩額(16)		—	—	—	—	—	0	
翌年度繰越収支差額(17)=(14)+(15)+(16)		—	—	—	—	—	△ 3,044,181	
(参考)								
事業活動収入合計(1)+(4)+(8)		6,521	1,044,715	686,927	759,091	103,008	2,600,262	
事業活動支出合計(2)+(5)+(9)+(11)		84,670	1,135,091	933,813	719,040	108,858	2,981,472	

富山国際大学

陸上競技部・北信越学生陸上競技対校選手権大会に出場



2025（令和7）年5月10、11日と福井県9.98スタジアムにて開催された北信越学生陸上競技対校選手権大会に陸上競技部の5名の学生が出場しました。

坂爪 暖さん（子ども育成3年）が男子ハンマー投において準優勝を果たし、昨年度の成績から順位を大幅に上げ、記録も6m近く伸ばし、日頃の努力の成果を存分に発揮しました。男子砲丸投においては北林友輝さん（現社2年）が4位、皆川将伍さん（現社3年）が5位に、男子円盤投では、皆川将伍さんが5位、田中佑視郎さん（現社4年）が6位入賞を果たしました。2つの離れたキャンパスで学ぶ部員が目標を達成するために毎日共に切磋琢磨し、励まし合い、心技体を鍛える日々を送っています。その日々の取り組みの成果が発揮された大会となりました。

富山短期大学

ボランティア活動報告集をWeb公開中～学生の地域貢献と成長を報告～

富山短期大学ボランティア支援センターでは、講義だけでは得られない、他者との出会いや協働を通じた自己の成長、授業で学んだ知識・技術の実践の場を提供しています。学生が活動を通じて得た貴重な経験と学びや地域貢献の成果については、毎年「ボランティア活動報告集」の形でまとめ、紹介しているところです。学生は報告の中で「多様な価値観に触れることができた」「多世代とのつながりやコミュニケーションの重要性を学んだ」と書いています。本学では知性と教養に加え、人間性の向上を重視しており、ボランティア活動は「もう一つの学びの場」です。教育と地域貢献を結びつける本報告集が、今後の活動へのご理解とご協力の一助となれば幸いです。地域と共に歩むボランティア支援センターを目指し、学生の活動を支援してまいります。



2024（令和6）年11月 富山県より表彰

富山国際大学附属高等学校

新入生を迎えて



2025（令和7）年4月8日に311名の新入生を迎え、入学式を挙行了しました。中川新校長は式辞で、「生きた英語力やICTリテラシーを身につけたグローバル人材を育てる国際高校で挑戦する勇気を持って日々成長してほしい」と、新入生に呼びかけました。金岡理事長からは、「国際化と情報化という二つの柱を持つ国際高校において文武両道で活躍し、多様性が満ちた環境でそれぞれの個性を思い切り伸ばしてほしい」との激励がありました。そして、新入生代表の関藤優有（せきふじ ゆう・射水市立大門中学校出身）さんが、「様々な人との出会いを通して考える力を身につけたい。部活動や生徒会活動、学校行事に積極的に参加し、友人と支え合いながら歩みを進めていきたい」と決意を述べました。

定員250名を大きく超える311名の新入生が入学し、1学年は3年連続9クラス編成となりました。ますます選んでもらえる魅力ある学校となるよう、教職員一丸となって、尽力していきます。

富山短期大学附属みどり野幼稚園

幼稚園にお獅子が来たよ！

2025（令和7）年4月12日（土）、幼稚園に願海寺・野々上地区の獅子舞がやって来ました。太鼓や笛の音が聞こえてくると、園児たちは目を輝かせてお獅子を迎えていました。目の前で舞う獅子はすごい迫力で、獅子の口がぐわっと開き近づいてくると思わずびっくりしたり、獅子と天狗の動きに「カッコいい～」「獅子の口の動きがすごい！」と声を上げたりと素晴らしい獅子舞の表現力に自然と大きな拍手が起こりました。

獅子舞を初めて見た園児も多く「楽しかった」「また来年も来てね！」と大喜びでした。願海寺・野々上地区の獅子舞保存会の皆さんからも「来年もまた来るよ！」とのお声をいただき、地域の方と交流をもつ良い機会となりました。

